

# 事務局からのお知らせ

## ●事業実施状況報告(10月末)

		令和元年	令和2年
会員数(人)	男	1,445	1,346
	女	484	435
	計	1,929	1,781
就業実人員(人)※		1,545	1,482
就業率(%)		80.1	83.2
受注件数(件)	公共	45	32
	民間	2,759	2,590
契約金額(千円)		450,592	421,773

※「就業実人員」数は、請負契約及び派遣契約の就業会員の合算数値になります。

## ●センターの電話番号の登録を!(お願い)

作業日報の確認や就業紹介など、多くの要件で会員さんの自宅や携帯電話に連絡しています。センターの代表電話を登録してください。事務処理にも支障が出ています。

必ずご登録ください ▶ センター代表電話 **04-7166-6681**

## ●マスク着用の励行

お客様や会員同士で話をするときは、必ずマスクを着用してください。お客様宅へ上がって作業するときも同様に、マスクを着用し作業をしてください。

## ●作業日報及び勤務実績通知書の提出期限の遵守について

作業日報や勤務実績通知書(派遣就業者専用)の提出が遅れると、請求事務に支障が出ます。作業日報等は、締め日後、速やかにセンター事務局又はパレット柏に提出してください。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## ●配分金支払日

12月分	1月25日(月)
1月分	2月25日(木)
2月分	3月25日(木)

※毎月の配分金明細書が必要な方は、事務局窓口へお越しください。

## ▼ ゆずりはクイズ Part46 ▼

Q1 福祉・家事援助サービス情報の体験1の中で、「楽しいと思うこと」を1つ挙げてください。  
Q2 「シルバーの顔」で芦荻さんが趣味で30年通っているところは何でしょうか?  
Q3 10月29日に当センターを視察した団体は、千葉労働局と松戸ハローワークとあと一つは何でしょうか?

●ヒント：4面、5面、7面を見てください。

答をハガキに書いて事務局に送ってください。  
締め切りは**2月19日(金)**です。正解者の中から、抽選で素敵な品を差し上げます。ご応募をお待ちしています。  
(会員番号と氏名を忘れずに書いてください。)

◎ゆずりはクイズ Part45の正解

Q1の答：327名  
Q2の答：千葉大学  
Q3の答：54名

応募数19通、  
うち正解者数18通  
でした。

センター  
緊急  
連絡先

**080-1293-8569**

この電話はセンター業務時間外に应答します。連絡は、緊急なことかどうかを考えてから電話をしてください。

# ゆずりは 第118号

編集・発行 令和3年1月20日

公益社団法人 柏市シルバー人材センター

〒277-0004 千葉県柏市柏下66-1

柏市保健労働会館2階

TEL 04-7166-6681 FAX 04-7163-4150

URL <http://kashiwa-sjc.or.jp>

メール [kashiwa@sjc.ne.jp](mailto:kashiwa@sjc.ne.jp)



## 目次

- 2P 新年の挨拶(月川会長 / 秋山市長)
- 3P 地域班地区長会議 / 地域班全体会議 / 配布委員会
- 4P 職群班会議(駐輪場班) / 厚労省からの視察 / ジョブコラム
- 5P シルバーの顔 / 誓約書の実施
- 6P 生涯現役促進協議会連携事業 / SG会寄稿 / 安全だより
- 7P 安全研修 / 新入会員研修 / 福祉家事援助サービス(女性部会)
- 8P 事務局からのお知らせ / 編集後記



シルバーの  
顔

田中地区 西原班 芦荻 あつ子 会員

▶ P5をご覧ください!!

## 編集 後記

新年お目出度うございます。新型コロナウイルス感染拡大第3波の中で年を越しましたが、東京の1日の感染者数が800人を超えるニュースを見たりしてますと千葉県民としても心穏やかではられません。ワクチン開発の状況も日々報じられ、実用化も間近いようで、ようやく先に明るさが見えてきたようです。3密を避け、マスク、手洗いを励行し、ともにこの時期を乗り越えてまいりましょう。【広報部会W】

令和2年度柏市シルバー人材センター  
安全標語最優秀作品

ちょっと待て 焦る気持ちが事故のもと



柏市シルバー人材センター会長  
月川 睦



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大、菅内閣の発足、アメリカ大統領選等、大変な年、話題の多い年となりました。

今年は、第一に新型コロナウイルスの感染拡大が収束して、皆様が安心して就業できるように願っております。

当センターにおいても、昨年3月以降は雇止めや就業の一時停止、会員の退会増など、事業運営に大きな影響が出ておりましたが、6月以降は、徐々に就業も再開し始め、新規事業も受託したことから、令和2年度は前年度を僅かに下回る程度の契約高が確保できるものと考えております。

現在、次の時代に備えるべく3年間の第4次基本計画を作成中で、会員の拡大や就業先拡大を大きな柱に、新規事業の開拓、女性会員の活躍拡大、効果的な広報活動、業務のデジタル化、オンライン化等を盛り込むこととしております。特に、新規事業の開拓で力を入れているのが、地域に密着した「選挙公報等の配布事業」で、現在、「配布事業準備委員会」を立ち上げ鋭意検討中ですが、配布希望者が不足している状況でございます。地域社会への貢献のため、是非皆様のお力添えをお願いいたします。

今後とも「自主・自立、共働・共助」の基本理念に基づき、会員・役職員力を合わせて、地域社会の期待に応えられる柏市シルバー人材センターを目指します。

結びに、会員の皆様のご健勝とご多幸、ご活躍を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より、長年培ってこられた経験や知識を活かし、日常生活に密着した就業を通じて、地域社会に貢献していただいていることに、深く敬意を表します。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の発生及び世界的拡大に伴い、社会経済活動に甚大な影響を与え、個人の働き方や生活習慣にも大きな変化をもたらしました。

本市においても、引き続き、感染拡大の防止及び社会経済活動を含めた市民生活の総合的な支援に取り組んでまいりますので、皆様方におかれましては、感染予防の意識を持って、ご家族など身近な方を守る行動をしていただきますようお願いいたします。

また、高齢社会の進展の中で、生涯現役社会の推進を図るため、市といたしましても、引き続き、センターと連携を深めながら、センター事業のPRに努めるとともに、高齢者の方が働きやすい環境づくりに取り組んでまいります。

結びに、会員の皆様のご健康とご多幸、柏市シルバー人材センターの益々のご発展を心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



柏市長からの挨拶  
柏市長 秋山 浩保



●第2回地域班地区長会議(11月11日)

会議は月川会長はじめ、地区長、役職員20名で開催。「会員の誓い」を全員で唱和し、月川会長より今年はコロナ禍の影響が大きく様々な問題が発生し、混乱もあるが、この会議を通じてより良い活動を継続していきたいとの挨拶があり、以下の通りの議題に入りました。

議題 「地区班役員の任期について」

現状では高齢化に伴い、引き受け手がいないこともあり問題になっている。現行規則の見直しを検討し、12月の全体会議において令和5年3月実施とする任期6年を決定する予定。

報告事項

① 配布事業の進捗状況：7月の地区長会議、8月の全体会議において配布業務受託の可能性の検討要請について説明、地区別による配布事業意向調査を行った。これにより「配布事業準備委員会」を立ち上げ、「第一回配布事業準備委員会」を開催し、地区別説明会を行い、令和3年3月に実施予定。

② 上半期事業実績：コロナ禍の影響もあり前年同期より減少したことは残念でした。6月以降は回復傾向もみられ、派遣事業は千葉県内一位の実績をあげ、徐々に回復している。

③ 事故発生状況：残念ながら事故を皆無にすることはできませんでした。高齢者(70歳~80歳)の転倒、剪定作業による事故が多いので各自の注意が必要です。

④ 地区班活動報告：コロナ禍の状況ということもあり、電話などによる連絡などそれぞれの工夫により継続して行われている状況。



●第2回地域班全体会議 開催

12月7日(月)と11日(金)、令和2年度第2回地域班全体会議が柏市保険勤労会館にて開催されました。今回はコロナの影響で2日に分かれての開催、地区ごとに地区長、班長など延べ50名が参加、加えて月川会長ほか役職員14名の参加となりました。

今回は以前から検討を進めていた地域班役員の任期が主の議題で「地区長、班長及び副班長の任期は2年。ただし、それぞれ3期までの再任は妨げない」ということで今までの審議経過の説明と協議がされました。規約は改正するも現時点で3期以上の役員も多いことから経過処置として全面適用は令和5年4月となります。

次に報告事項として①配布事業の進捗状況②令和2年度上期事業実績③令和2年度事故発生状況④地域班活動について報告がありました。会員各位にアンケートがあった「配布事業」については必要人数に対してまだ53名の不足があり引き続き協力を頂ける会員を募集中です。



●第1回 配布事業準備委員会(11月11日開催)

最初に月川会長から各委員に委嘱状が交付され、これを受理する。そして正式な開会宣言が行われた。月川会長より挨拶があり、引き続き市役所関係者(選挙管理委員会事務局2名及び議会事務局2名)、センター事務局の紹介があり、委員長、副委員長の選任が行われた。配布事業は、柏市より「広報かしわ」をはじめ、「選挙公報」「議会だより」の全戸配布の可能性についての検討要請であった。センターは、近隣センター、駐輪場に次ぐ第3の柱として、また、地域貢献と健康寿命の延伸、地域班活動の活性化につながると期待している。

準備委員会としての進め方として、第1段階は会員の確保、意向確認、第2段階は地区説明会、第3段階は配布体制、区割り図の完成、第4段階はモデル事業、第5段階は全戸配布事業を行う予定である。しかし、現状の調査では、希望者は340名程度であり、柏市全世帯(19万7千世帯)を網羅するには400名以上の会員が必要で、空白地区が発生する地区は、さらなる努力が必要である。そのために各地区において個別対応を密にし、早期に会員確保の見通しを立てる必要がある。従って、会員の皆様のご理解とご協力を願い、この事業の成立にご理解を得たいと希望するものである。



## ●駐輪場班会議を開催

昨年11月11日(水)、センター小会議室で、駐輪場班会議(出席者5名)が行われた。事務局(担当高木主事)から、以下のことについて説明があった。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、抽選の駐輪場が変更。令和2年度の接遇講習について、接遇の向上に役立つ内容で実施する。受講対象は、コロナ感染防止の観点から未受講者のみとする。令和3年度の新規受付講習の受講人数の確認と実施時期の確認。次に、駐輪場業務に係る意見交換が行われ、就業中のトラブルは避けられない問題で当然起こりうることを前提に、対応については従来の成功例を参考に徹底して行うことを徹していく。また、注意指摘等の行為は、トラブルのもとになるので極力避けるよう努力する。その積み重ねによって利用者の反応が変わり、少しずつ努力が報われることに喜びを持つことができるとの意見が出された。その他、具体例による問題提起があり、全員でその問題点を共有することができました。



## ●厚生労働省、千葉労働局及び松戸ハローワークが当センターを視察



10月29日(木)午後、厚生労働省職業安定局高齢者雇用対策課、千葉労働局職業安定部、及び、松戸ハローワークの視察訪問がありました。視察内容は、①センターのDVDは、わかりやすくできていると高評価を得た。柏市生涯現役促進協議会との連携では、具体的な事例(セミナーの共催、センター事業の説明およびPR等)の説明を行いました。センターの活動状況では、総会出席率の取り組みや地域班活動(地区長会議、地域班会議)について、会員の拡大、健康診断書提出の規定化、入退会状況、請負・委任及び派遣実績など資料を通し説明しました。また、新たな事業として学校校務支援や保育園遊具等の清掃、放課後児童クラブ補助、配布事業の進捗状況など、柏市当局からの受注要請があることを伝えました。最後に山口局長から「国の補助金制度の見直し」について要請をしました。



厚労省  
五百旗頭課長

私は現役時代にマウンテンバイクで野山を走るクロスカンントリーを始め、今では趣味の一つとなっていますが、65歳に近づくに連れしばしば体力の衰えを感じることも。近年は各地へ赴いた際にレンタサイクルや持参した自転車であらゆるポタリングを行い、その街の特色ある佇まいを味わい時には隠れた名店を見つけ出すこともあります。私は自転車通勤をしていますが会員の中には就労先まで自転車を利用されている方も多くと思います。通勤時に車や歩行者との「ヒヤリ・ハット」したことは無いでしょうか。ある調査ではこのヒヤリ・ハットを経験した人の約70%は自転車利用者自身に原因があったとのこと。ではどのようなことからヒヤリ・ハットが生まれるのか。その多くは、一時停止を怠ることや逆走などのルールやマナーを無

視していることです。しかし、シニアにはこの他に身体的な衰えによる視覚機能の低下(視力、視野)また、バランス機能の低下によるふらつき等がプラスの要因となっているそうです。そこで事故を回避するためにはどのようにすれば良いかですが、①曲がり角や後方の確認時に今までより今一つ大きく首を振り視野を広げましょう。②前カゴ及びハンドルには重い荷物を載せないようにすることで発進時のふらつきを少なくすることができます。事故もなく安全に通勤していただくためには、自分の乗り方を再度確認してみはいかがでしょうか。

【ジョブコーディネーター岩崎克康】

## ジョブ コラム

JOB column

## ●シルバーでの仕事

芦荻さんの仕事は、中学校で校務支援(教員の補助:資料の印刷や採点など)を派遣会員として働いておられました。職場には校長先生や先生方がよく来られていますが、いつも明るい笑顔で働いておられました。シルバーの仕事としては、以前近隣センターで仕事をしていたが、今年度からこの仕事に携わったそうです。また、ご主人もシルバーで働いておられるようです。

## ●以前の仕事と現在

病院の事務の仕事が30年と長いキャリアウーマン、シルバーでも持ち前の明るさと面倒見の良さが就業先でも喜ばれています。以前の仕事も現在も地域との繋がりが多い仕事で自分のやりたいことと一致しており、とても有意義だと語っておられました。また、学校での仕事はシルバーでも他校を含めると3名が就業されており、余計責任感が湧いてくると話しておられました。

## ●趣味

趣味はと何うと、これまた多趣味で「旅行」や「コンサート」「洋裁」ほかいろいろとお話しがでてきましたが、特に「スポーツクラブ通い」は30年、なかでも



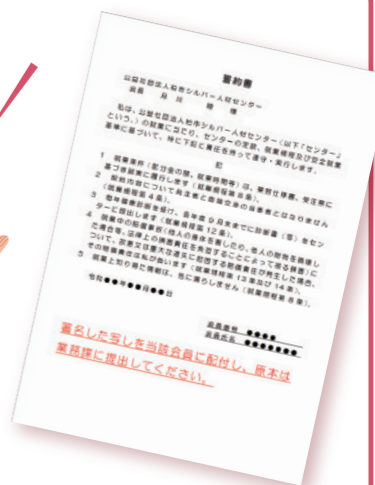
田中地区 西原班  
あしかり  
芦荻 あつ子 会員

ダンス(バレエ)が大好きとのこと。きっかけは、猫背にならないように気を遣って始めたそうですが、今は仲間の方々と楽しい一時を過ごしているようです。故郷に残っているお母様を気遣いながら、時々来られる小学生の2人のお孫さんに会うのが楽しみとのこと。洋服の着こなしが素敵な芦荻さんでした。

## ●誓約書について

この度、機関紙「ゆずりは」に同封しました「誓約書」は、就業開拓部会の課題(会員のトラブル減少やセンター主旨の理解度を深めることなど)として取り組んでまいりました。昨年10月の理事会で承認され、新たに就業される会員に対応します。皆様には、誓約書の内容を再度ご確認ください。よろしくお願いいたします。

同封のこちらの  
誓約書をご確認  
ください!



## ●生涯現役就労セミナーへ参画

生涯現役就労セミナーが令和2年11月16日(月)、柏地域医療連携センターにて開催されました。



これは、柏市生涯現役促進協議会が定年退職前後の方や新たに就業活動をスタートしたい方を対象に企画したものです。当日は、当センターから山口事務局長、ジョブコーディネーターの富岡職員と入山職員が参加しました。

東京都健康長寿医療センター研究所特別研究員の基調講演のあと、「事業者求人情報参加事業者」(当センターを含め11社)が事業所の紹介、雇用状況などを説明、当センターからは富岡職員が幅広くセン

ターの状況の説明と雇用促進PRをしました。

参加者は、先着30名とありましたが40名を超える盛況ぶりで、後半に行なわれた別室ブースにての個別説明会には、順番待ちの方もできるほどの盛況ぶり。

富岡職員、入山職員の熱のこもった説明があり、参加者からの質問にも答えていました。また、時間切れになってしまった方には、センターの方へお出でくださいとのご案内をしました。山口事務局長も熱心にブース入口で出入りする参加者に対して当センターのPRをして会員確保の一助となりました。

富岡職員、入山職員の熱のこもった説明があり、参加者からの質問にも答えていました。また、時間切れになってしまった方には、センターの方へお出でくださいとのご案内をしました。山口事務局長も熱心にブース入口で出入りする参加者に対して当センターのPRをして会員確保の一助となりました。



## ●ホールインワン出た!SG会

10月19日、取手桜ヶ丘ゴルフクラブにて、初参加の4名を含め総勢13名でコンペを開催しました。

前夜の雨でコースは湿った状態、天気予報は午後から雨でしたが、傘をさしたのは2ホール、風も無くまずまず。5月のコンペは中止したので1年ぶり、慣れ親しんだレイアウトを思い出し、緑の景色を眺めながらプレーに集中。とは言え、思い通りにいかないのがゴルフ、池越え・川越えや、グリーン周りのバンカーが多く難しい。それに、芝が湿っていて転がりが少ないのでショートしたり。そんな中、後半の5番、142ヤードでホールインワンが出ました。83歳の奥山森さん、3番ユーティリティ使用で、今日が誕生日とか。だからゴルフはやめられない。優勝を獲得したのは、正確なショットで攻め抜いた中村俊則会員。表彰式は3密を避けながら慎重に、入賞や順位賞、BG、BB、DC、NP賞の表彰と、受賞者の声を聞いて終了。

今回は5月17日の予定、元気で再会することを約束し閉会しました。(寄稿 日野良英)



## 安全だより



### 安全委員会からのお知らせ

会員の自転車の転倒事故が増加していることから、柏警察署の「高齢者の交通事故防止講座」を実施します。詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

A N Z E N D A Y O R I

日時 令和3年2月17日(水)  
午前10時から  
場所 センター大会議室



## ●「安全研修」実施 講師:倉林委員長



安全委員会は11月25日(水)、センター大会議室で「安全研修」を開催しました。講師は安全委員会の倉林委員長。今回の受講者は駐輪場

管理・除草作業・軽作業に就業されている方4名が対象でした。「最近の事故事例発生状況」報告と「指差称呼」「1人KYT」などのVTRを見た後その重要性について講師から解りやすい説明がありました。特に「KYT」(危険予知訓練)については1人でもでき職場の安全確保はもちろん、自分の身の安全を守ることにもなります。実際の職場においてどんな危険が潜んでいるか、それによって引き起こる事故を想定して早めの対応が大切です。倉林委員長からは皆さんの職場においても安全知識をさらに広めて頂きたいと語っていました。

## ●「新入会員研修」実施

11月26日(木)、27日(金)の2日間、新入会員研修がシルバー人材センター大会議室で40名を対象に実施されました。3密を避けるため午前と午後の部に別れ計4回の研修会になりました。当日の講師は月川会長を初め4人の役員が担当しました。(写真の講師は米満理事)研修の内容はシルバー人材センターの概要や就業時の心得、安全管理と健康管理など幅広い内容でしたが、加えて各地域で行なわれている地域班活動、親睦会活動などへの積極的な勧誘も含め和やかな雰囲気でした。取材をした3回目の研修では講師の就業体験で地域とのコミュニケーションを通して得られたことや「ほうれんそう」(報告・連絡・相談)が大切と思ったなど具体的な事例の紹介などがあり、新入会員の参考になったと思われます。また、これから皆様の職場の仲間の一員として会員各位の暖かいバックアップを望みます。



## 福祉・家事援助サービス情報 ①

センターは、福祉・家事援助サービス就業会員の拡大と事業の認知度アップを目指しています。新型コロナ禍にあってできることとして、就業の現状を「ゆずりは」にてシリーズで情報提供していきたいと思ひます。福祉・家事援助の仕事始める皆さんに参考としていただければ幸いです。(寄稿 女性部会)

内 仕事の内容 苦 苦勞したこと  
始 仕事を始めるのに不安だったこと  
楽 楽しいと思うこと 慣 慣れるのに要した期間  
続 就勞期間、繼續するためのポイント

### 体験1

内 調理で包丁を使うことが出来ない72~73歳のご夫婦宅に、週1回、1時間お伺いしています。用意されている1週間分、8種類位の野菜を料理できるようにカットし、冷蔵庫に保管することが仕事です。  
始 特にありませんでした。  
楽 役に立っていると感じられることと、調理しながらの会話が、お互いに楽しい感じです。  
慣 人間関係と仕事内容に1ヶ月位かかりました。  
続 3年2ヶ月。忠実に仕事をする事です。馴れ合いにならないこと、時間を守ることを心掛けています。

### 体験2

内 90歳の女性と娘さんのお宅、自分で家事ができて居る広い家。週1回、1時間お伺いしています。浴室、トイレ、廊下の清掃が仕事です。  
始 仕事で他人の家に入るのは初めてでした。面接は失礼の無いようにと緊張しました。  
苦 姑から1年間反対されました。今は賛成しています。清掃は、埃をとれば良いということではなく、触ってはいけない調度品があり、慣れるのに苦勞しました。分からないことは聞いてからやるようにしました。  
楽 同郷なので、仕事のあと、共通話題でのおしゃべり。努力していると励ましてくれます。  
慣 家のその時の繁閑、顔色など雰囲気把握することが大事で、数回目からは、緊張しないでコミュニケーションがとれるようになりました。  
続 4年くらい。健康、暗い顔をしないこと、友達感覚でのおしゃべりが繼續のポイントです。